

令和5年度 第2回笛吹市子ども・子育て会議 会議録

日 時 令和6年2月5日（月） 午後2時から午後3時00分  
場 所 笛吹市役所 本館301会議室  
出席者 早川 公仁委員長、上田 啓子副委員長、梅沢 千恵子委員、矢巻 行祥委員、  
渡邊 由美委員、嶋田 拓郎委員、長田 華織委員、長谷部 信浩委員、  
堀内 智恵子委員、石原 まゆみ委員  
※笛吹市子ども・子育て会議設置条例7条第2項の規定により会議成立  
事務局 中村 富之子供すこやか部長  
田中 暁子子育て支援課長、薬袋 美穂保育課長  
保健福祉部障害福祉課 志村 章治  
子供すこやか部子育て支援課 飯室 弘行、本庄 由美子、堀内 麻紀子、  
風間 雄太  
子供すこやか部保育課 雨宮 久美、田中 貴幸  
傍聴人 2人

次 第

（進行：子育て支援課長）

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

(1) 第3期笛吹市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について

（事務局から説明）

【質疑応答】

（議長：早川委員長）

何かご質問、ご意見などありましたらお願いします。

(上田副委員長)

今回は、対象者がどの位の割合で調査を行いますか。また、調査票が返信され、具体的なコメントを書いてもらう欄も非常に気になるところですが、その扱いについてはどう考えていますか。

(飯室担当)

調査件数の割合は、就学前児童保護者は2280人のうち2000人が対象で、兄弟がいる家庭もあるのでほぼ対象になります。小学校児童保護者は、2314世帯に対し1500件ですので65%位の割合。児童扶養手当受給者は600件の予定で現在585世帯ですので、全世帯が対象になります。また、返信された調査票で個別の記載については、前回の調査時と同様に取りまとめた後、委員及び各関係事業者にも報告をしたいと考えています。

(上田副委員長)

就学児童保護者向け調査票の問7で、気軽に相談できる人、場所の有無、また相談できない理由を聞いていますが、実はこんなことを相談したかった、というようなことを聞くことはいかがでしょうか。

(飯室担当)

スペースの問題もありますが、相談したかった内容を記載するスペースを設けるよう検討します。

(堀内委員)

5年前の調査の回答率はどのくらいだったのでしょうか。また、調査票の文字数も多くて負担だと思います。この1年、子育てされている皆さん、物価高騰もありコロナの時と違った経済的な負担を受けていると感じていますが、そういうものを聞き取るところがあってもいいのではないのでしょうか。

(飯室担当)

5年前の調査では児童扶養手当受給者の調査はなく2種類で、就学前児童保護者2000件、小学校児童保護者1500件を対象として、どちらとも約49%の回答率でした。また、児童扶養手当受給者の調査票も含め今回の3種類の調査票ですが、回答者の負担を軽減するよう、前

回と比べて質問数を削減しています。また、負担感の聞き取りについては、なかなか全てを聞き取るのが難しいですが、自由記載欄を設けてありますので、そこで聞き取りできればと考えています。

(矢巻委員)

今回のこの第3期計画は、今までと色が違うというのは認識されていると思いますが、参考までに、例えば、神奈川県知事さんの場合、大学の学長だった方を参事監という形で迎え入れ福祉系の全ての政策立案について行っています。今回の計画では、ニーズ調査の結果、現状との比較だけで今までと同じ様に作ってしまわないよう、国でも今回は子ども政策で障害者政策も含め、特に子どもが政策の中心に捉えられているので、必要な事業を行う上で市の負担にならないよう計画に盛り込んでいただきたいと思います。

(飯室担当)

今回この調査でニーズの把握等をし、その調査結果を受けて本会議の委員の皆さんの意見も伺いながら、第3期事業計画を策定していくこととなりますのでよろしく申し上げます。

(矢巻委員)

これまでのやり方、予算の後付けみたいなことでなく、これからどんなまちにしていきたいかってことを計画に落とし込んでおかないと、国がメインパッケージを出した時、その予算が取れないような難しいタイミングに来ている。5年後には出来るまちと出来ないまちで県内でも二極化されてしまうので、ちょっと危機感を持っていないといけないと思います。計画策定を外部に発注するにしても、神奈川県のようにこういったことをきちんと分かっている人に入ってもらい計画を作ってもらいたいと思います。

(早川委員長)

貴重なご意見をありがとうございました。ニーズ調査をして、その結果だけではなくてそこから未来のことを考えながら施策を考えていくということですね。ニーズ調査から何をどういうふうに、未来を見て子育ての施策に反映していくか、課題は何なのか、そういうものを含めていくことが必要じゃないかという解釈をさせていただきました。

(堀内委員)

このニーズ調査の質問の作り方とか仕方というものが、矢巻委員の話しに合っているのかと感じましたが、それを踏まえて少し内容変換はできますか。

(飯室担当)

大きな内容変換は今の時点だと時間的に厳しいと思います。調査内容については、国で決まっている設問、あと前回との比較もありますので今回こんな形となっています。それから、本当に聞きたいことはもっと細かくあるかもしれませんが、回答者の負担軽減ということでスリム化していますのでご承知いただければと思います。また、調査の結果を受け、委員の皆さんのご意見伺いながら計画策定していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

(早川委員長)

それでは、次の議題に進みたいと思います。事務局の方から説明をお願いします。

## (2) 特定教育・保育施設等の利用定員の設定について

(事務局から説明)

### 【質疑応答】

(議長：早川委員長)

何かご質問ご意見ありましたらお願いします。(質問、意見なし)

それでは、質問等がありませんので議事については以上で終了したいと思います。議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

## 4 その他 (事務局から報告)

- ・ 今後の予定
- ・ 地域子育て支援センターに係る令和6年度当初予算の現況

## 5 閉会